

北海道札幌啓成高校 2019 年度カナダ研修

第 5 日目 2020 年 3 月 4 日 報告書

雨季のバンクーバーとしては非常に珍しく、朝から青空の広がる素晴らしい晴天となりました。

今日は、カナダ西海岸 No.1、世界ランキングでも 34 位といった、世界でも非常に優秀な大学の一つである、プリティッシュ・コロンビア大学を訪問しました。

ここでは、建築学が専門の Mr. John Sherk による、Sustainability のワークショップが行われました。ワークショップには、4 人の UBC の学生も参加しました。まずは、Sustainability の言葉の意味から入り、自分にとっての Sustainability とは何か？をグループでディスカッションをしながら考えていきました。「Ecology」「Economy」「Equity」の 3 つの要素のバランスが大事ということを説いていましたが、このバランスをどうしたらよいかを体感的に理解するために、Sherk 氏が作ったバランスを取る装置に 3 人で同時に乗り、傾かず安定させるにはどうしたらよいかを実践し・実感しました。手を取り・声をかけ・他者に目配り、気配りをして…と様々な配慮をしながらバランスを取り、Sustainable な状態を作り出さなければならないということが、理解できたのではないかと思います。最後に、Sherk 氏からお土産として、UBC で売っている、再使用可能な鉄製のストローを記念に 1 名の生徒にプレゼントしてもらいました。

ワークショップの後は、小グループに分かれてキャンパス見学を行いました。ただ、校内を歩き回るのではなく、お題として示された、UBC のキャンパス内で Sustainability に関連した取り組みが行われている 9 個のポイントを、発見し写真を撮りながら約 1 時間、大学生の案内でキャンパスを巡りました。4 人来てくれた大学生の内、日本語も話す学生も 3 人おり、英語だけでなく、日本語でも UBC や大学生活に関して話を聞く機会になりました。

キャンパスツアー終了後、大学のカフェテリアでランチを摂り、すぐにバンクーバーのダウンタウンに向かいました。ダウンタウンでは、「バンクーバー発祥の地」と言われる Gas Town で、小樽にもある蒸気時計（設計者は同じです）を見学したり、1800 年代後半の雰囲気、レンガ造りの街並みを散策して楽しみました。

早いもので研修 5 日目が終了し、明日からは後半に突入します。時差も取れて、少しずつカナダの生活にも慣れてきているようです。

以上、カナダ研修 5 日目の報告となります。

以下 4 枚、Sherk 氏のワークショップ





UBC の学生とのキャンパス見学



ギヤスタウンの蒸気時計の前で

